

安塚区地域協議会だより

発行日：令和3年2月25日

発行人：安塚区地域協議会 会長 松苗 正二

第31号

ごあいさつ

安塚区地域協議会
会長 松苗 正二

令和3年も2か月近くが過ぎ、時の早さに驚くばかりです。

昨年の12月14日夕方からの初

雪は、記録的な大雪となり、災害救助法が適用されました。近年は少雪が続き、屋根の雪下ろしもない冬となっていました。今年には雪掘をするほどとなり、要援護世帯の方は、心配な日々を過ごされておりました。当区でも除雪業者が間に合わず、助けを求め



る方がおられる自治会では、雪掘チームを作り連日救援活動をされていました。地域を守るとは、こういうことではないでしょうか。困っている住民がいれば、そこへ手を差し伸べる人が、「心配するな、いいよ行くよ」と駆け寄る。これほど心強いことはありません。地域をつなぐ輪の一つとなりました。

今年度の地域活動支援事業では、多くの方より事業提案をいただき、地域の輪を広げるために区内の歴史や情報発信、魅力アップ等にご貢献されました。地域の輪は、歴史文化を知り、人を知り、先を見ることがあると思います。次年度の地域活動支援事業も募集が始まります。地域の輪を広げるためにもより多くの事業提案をくださいますようお願いいたします。

地域協議会視察研修

【令和2年11月30日（月）】

地域活動支援事業は、平成22年度から始まり、令和元年度に10年目を迎えました。安塚区では、この10年間で計133個の事業提案がなされ、そのうち103個の事業に対し、採択を行っています。

地域協議会では、昨年11月30日（月）に視察研修を行い、平成30年度及び令和元年度に採択された事業を対象として提案団体の皆さんからお話を伺いました。

数年間継続して活動されている団体や新たに地域活動を始められた団体の現状を見聞きする中で、地域の皆さんが地元を活性化させるために真摯に考えて取り組み、また、楽しく地域づくりをされていることを実感しました。今後も多くの皆さんから地域活動支援事業を活用いただき、活気ある地域になることを期待したいと思います。

（石田 ひとみ 副会長）



沼木の里づくり推進事業

(杣の木自治会)

【平成30年度採択事業】

11月末の秋冬の雨の中の視察でした。杣の木は慶長2年(1597年)に家3軒11人から始まると史料にあります。昭和40年頃に秋の夕空の中、杣の木の巢に戻る鳥の群れは500羽余りを数えた記憶があります。

そして今、全12戸20人となり、不耕作地の景観づくりから出発した取組は、柳葉ひまわりの植栽とトイレ、広場及び駐車場の整備へとつなげられ、安塚小・中学校生徒の協力のもとで毎年棚田カフェが開催されるまでとなっています。

今後まだまだ道路整備のための支援は必要になるでしょう。急傾斜の棚田の中に入りあげた天空の花畑の里に皆さんもお出てください。

(池田 康雄 委員)



安塚 Jrリアルペン

スキークラブ育成事業

(安塚スキークラブ)

【平成30年度・令和元年度採択事業】

日本のスキー発祥の地、上越市内のスキー場において、クラブのジュニア育成は大事な事業であり、スキーを通じて子どもたちの体力づくりや人格形成等にも大きな役割を果たすことに寄与しています。

全中大会準優勝、全日本スキー技術選参加などの実績もあり、運営に携わる安塚スキークラブの方々熱意や努力を実感しました。

第4リフトやゴンドラの復活など問題も多のですが、今後も継続してほしい事業です。

(池田 裕夫 委員)

今後も優秀な選手の育成を願っています。



山のうへの雪まつり事業

(山のうへの雪まつり実行委員会)

【令和元年度採択事業】

地域活動支援事業を活用し、活動されておられる団体の事業内容等の視察研修に参加し、5団体の活動の説明や実際の活動を視察してきました。地域の活性化に対する想いが感じられる視察でした。その中の一事業である「山のうへの雪まつり事業」は、若い人たちのグループによる事業で、コロナ禍において対策を考えながら多数の集客を目指し、活動されています。事業費も自主努力で出来るだけ自分たちで集めたいとの若い人たちの団結力は、素晴らしいものがあります。応援したいと思える事業の一つです。

(新保 良一 委員)

地域活性化のために今後も頑張ってください。



安塚区高齢者いきいき支援事業

(安塚トリットボール普及会)

【令和元年度採択事業】

トリットボールという協議を初めて耳にしましたが、平成元年にゴルフとゲートボールをミックスして誕生した新潟生まれのニュースポーツとのことでした。

練習会場では、地域の方々がいきいきと楽しく競技をされ、熱気にあふれていました。

1競技2時間ほどで体と頭を使い、高齢者の方々の健康増進や仲間づくりにつながる事業であると感じました。この楽しく健康的に行うことができるトリットボールが安塚区全体に普及していくことを願っております。

(小松 光代 委員)

いきいきと楽しく活動されていました。



楽しみながら健康的にプレーできます。



郷土の自然・史跡探訪推進事業

(安塚自然友の会)

【平成30年度採択事業】

「郷土の自然・史跡探訪推進事業」について、安塚自然友の会の方からお話を伺いました。郷土について詳細に調べ上げ、テーマごとにガイドブックに分かりやすくまとめておられるなと思いました。

これらのことは、とても大切なことであり、見る楽しみと行く楽しみを膨らませてくれるものです。安塚の自然と歴史の保存、検証に貢献していただいている代表的団体として、今後も活動を続けてほしいと思います。

(中村 真二 委員)

地域おこし協力隊の林隊員との意見交換会も行いました。



令和2年度地域活動 支援事業の取組紹介

「幸せの灯ろう」で
地域に光をともしよう
（「幸せの灯ろう」をともし会）

「幸せの灯ろう」をともし会では、新型コロナウイルスの影響によりイベントの中止等が相次ぐ状況の中で、安塚区の元気を呼び起こすことを目指し、「幸せの灯ろう」まつりを企画しました。

新型コロナウイルス感染対策のために企画内容を一部変更し、灯ろうの作り方を紹介した動画を放映したうえで、皆さんから自宅で灯ろうづくりの協力いただくこととしました。



10月3日（土）にフラワーキャンドルづくりのワークショップを実施し、3日（土）と4日（日）の夕方には灯ろうを点灯して「幸せの灯ろう」まつりを開催しました。

フラワーキャンドルづくりのワークショップには22名参加いただきました。また、灯ろうづくりには100名協力いただき、220名から観覧いただくことができました。

参加者からは「色々なイベントが中止となっている中で、こんなイベントがあつてよかった」という声をたくさんいただきました。工夫を凝らしながら次年度以降も開催を継続し、「幸せの灯ろう」まつりを安塚区全体のまつりとして広めていけるよう活動していきたいと思っております。

